Information

インフォメーション

検査№ 2021－37
2021年10月

検査内容変更のお知らせ

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
このたび、別掲の検査項目におきましては、定期的な見直しに伴い検査内容の一部を変更させて頂きたくご案内いたします。
誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

変更項目および変更内容

※詳細につきましては、裏面内容をご参照願います。

変更期日

2022年4月1日（金）受託分より変更

保健科学グループ

保健科学研究所　〒240-0005　神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106　TEL. 045-333-1661
保健科学東日本　〒365-8585　埼玉県鴻巣市天神3-673　TEL. 048-543-4000
保健科学西日本　〒612-8486　京都府京都市伏見区羽束師古川町328　TEL. 075-933-6060

変更項目および変更内容

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	変更理由	総合検査案内掲載頁
5001	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	基準範囲	0.350～4.940 μIU/mL	0.390～4.010 μIU/mL	試薬変更のため	26
		報告範囲	0.008未満 ～ 999.999	0.008未満 ～ 750.000以上		
5010	トリヨードサイロニン (T_3)	基準範囲	0.57～1.52 ng/mL	0.76～1.77 ng/mL		27
		報告範囲	0.40未満 ～ 6.00以上	0.10未満 ～ 8.00以上		
5097	遊離トリヨードサイロニン (F-T_3)	基準範囲	1.68～3.67 pg/mL ※	2.2～4.1 pg/mL		
		報告範囲	1.50未満 ～ 20.00以上 ※	0.2未満 ～ 20.0以上		
5011	サイロキシン (T_4)	基準範囲	4.87～11.72 μg/dL ※	4.8～11.2 μg/dL		
		報告範囲	0.65未満 ～ 24.00以上 ※	0.3未満 ～ 30.0以上		
5086	遊離サイロキシン (F-T_4)	基準範囲	0.70～1.48 ng/dL	0.83～1.71 ng/dL		
		報告範囲	0.42未満 ～ 5.00以上	0.10未満 ～ 12.00以上		
4009	α-フェトプロテイン (AFP)	報告範囲	0.5未満 ～ 200,000以上	1.3未満 ～ 200,000以上		41
4010	CEA (癌胎児性抗原)	報告範囲	0.5未満 ～ 15,000.0以上	0.5未満 ～ 10,000.0以上		

※小数点以下の桁数に変更があります。

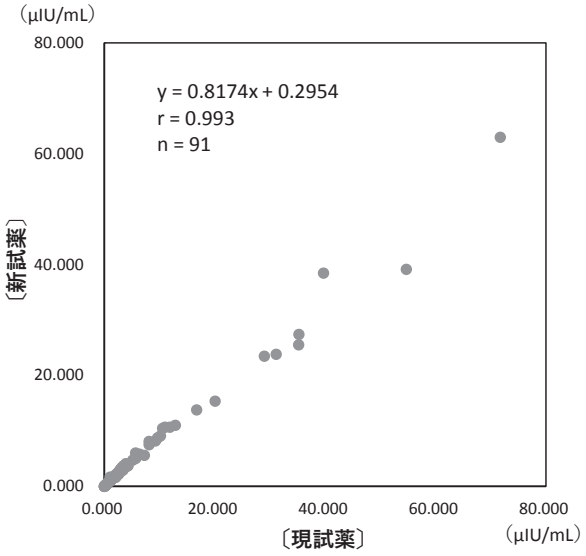
変更項目および変更内容

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	変更理由	総合検査案内掲載頁
4103	CA19-9	報告範囲	0.8未満 ～ 120,000.0以上	1.2未満 ～ 140,000.0以上	試薬変更のため	41
4049	CA15-3	報告範囲	0.2未満 ～ 4,000.0以上	0.5未満 ～ 4,000.0以上		
4106	CA125	報告範囲	0.6未満 ～ 100,000.0以上	2.0未満 ～ 12,000.0以上		
4088	PSA （前立腺特異抗原）	基準範囲	4.000以下 ng/mL ※	4.00以下 ng/mL		43
		報告範囲	0.025未満 ～ 999.999以上 ※	0.03以下 ～ 10,000.0以上		

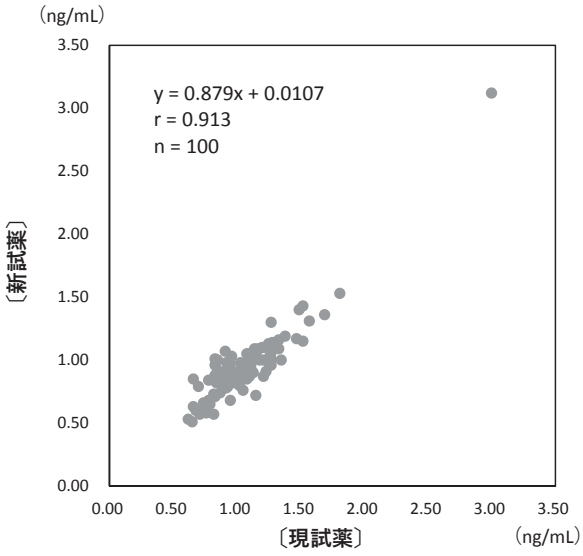
※小数点以下の桁数に変更があります。

▼新試薬と旧試薬の比較

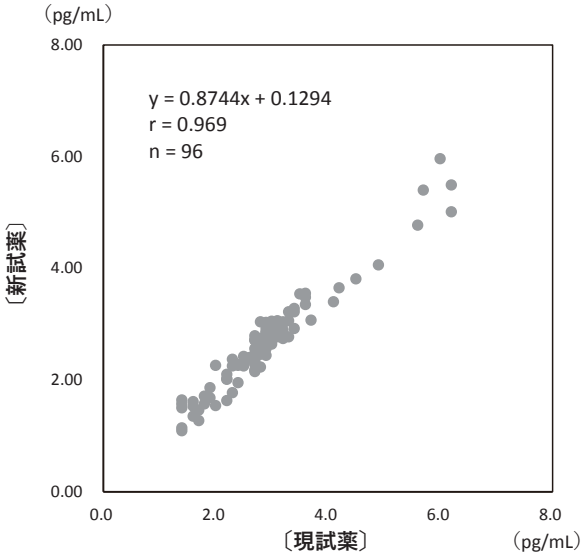
〔甲状腺刺激ホルモン(TSH)〕



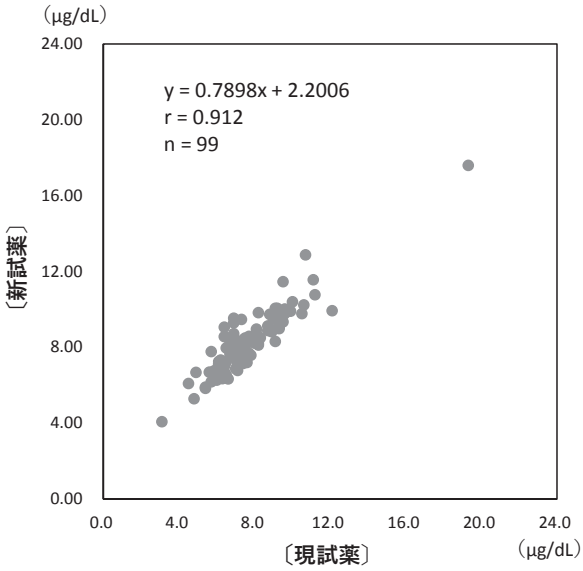
〔トリヨードサイロニン(T_3)〕



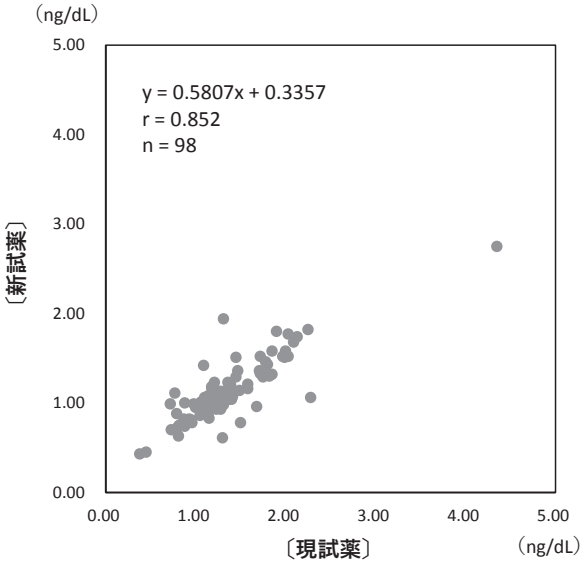
〔遊離トリヨードサイロニン(F-T_3)〕



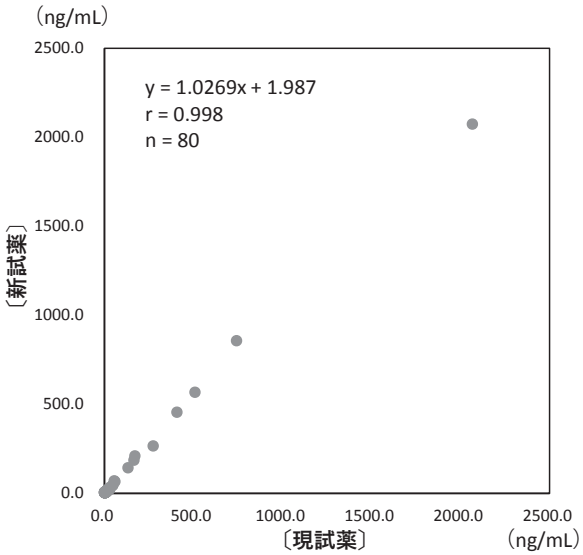
〔サイロキシン(T_4)〕



〔遊離サイロキシン(F-T_4)〕

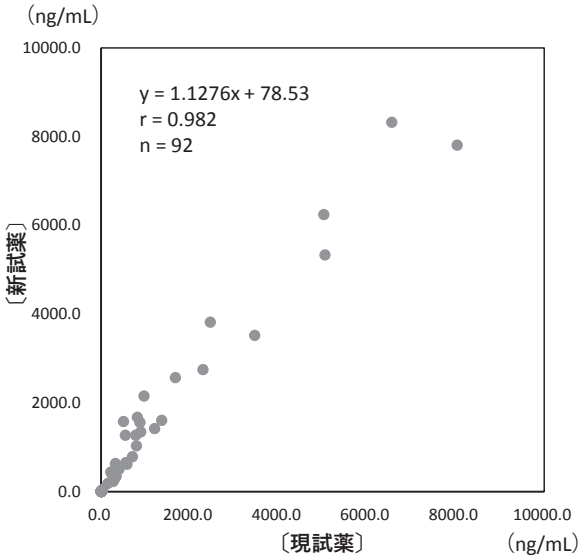


〔α-フェトプロテイン(AFP)〕

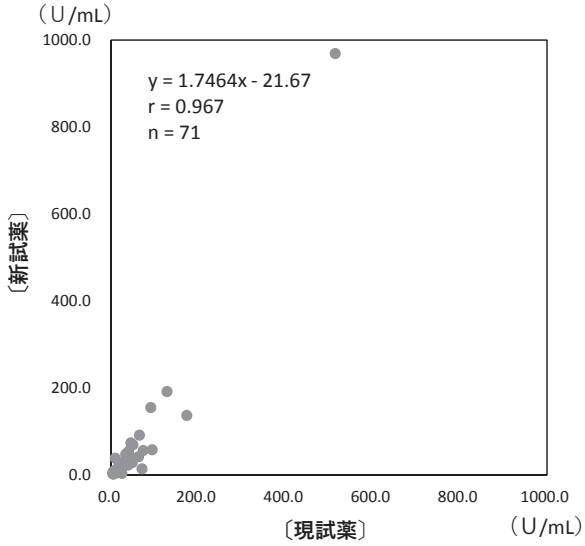


▼新試薬と旧試薬の比較

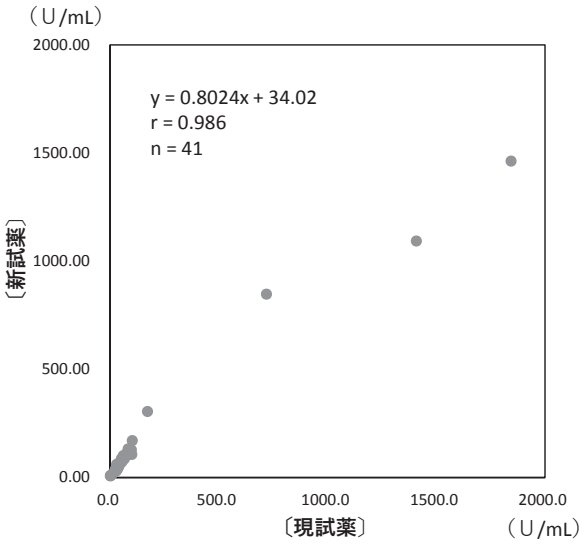
〔CEA（癌胎児性抗原）〕



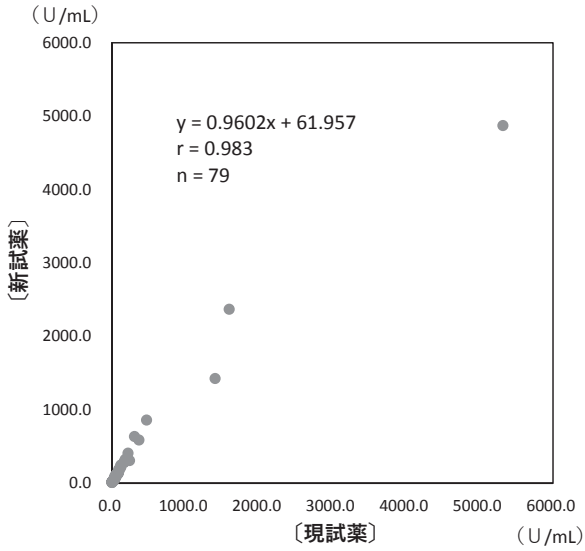
〔CA19-9〕



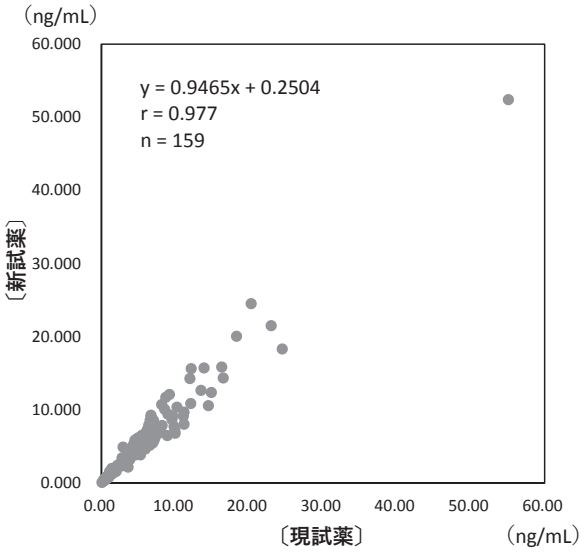
〔CA15-3〕



〔CA125〕



〔PSA（前立腺特異抗原）〕



▼検査方法参考文献

・玉井一，他：全自動化学発光免疫測定装置アーキテクト i2000 による血中 TSH, FT4, FT3, T4, T3 測定の基礎的ならびに臨床的検討．医学と薬学 42（4）：609-622, 1999.〔TSH/F-T_4/F-T_3/T_4/T_3〕
・井本祐司，他：全自動化学発光免疫測定装置 'ARCHITECT（R）i2000' および ARCHITECT アナライザー専用試薬の評価：医療と検査機器・試薬 25（6）：557-563, 2002.〔TSH/F-T_4/F-T_3/CEA/PSA〕
・井上直哉，他：全自動化学発光免疫装置アーキテクト i1000SR による TSH, FT4 および FT3 測定試薬の基本性能評価．医療と検査機器・試薬 39（3）：281-291, 2016.〔TSH/F-T_4/F-T_3〕
・増渕純一，他：「アーキテクト（R）・AFP EX」の性能評価．臨床検査栃木 8（2）：41-45, 2013.〔α- フェトプロテイン（AFP）〕
・熊谷保之，他：免疫測定装置アーキテクト（TM）i2000（TM）の概要．日本臨床検査自動化学会会誌 25（1）：70-74, 2000.〔CEA（癌胎児性抗原）〕
・荒川愛，他：全自動化学発光免疫測定装置「Architect（R）i2000」を用いたアーキテクト（R）・CA19-9（TM）XR の評価：医学と薬学 57（3）：359-367, 2007.〔CA19-9〕
・熊田益子，他：全自動免疫測定装置 ARCHITECT（R）i2000 による「アーキテクト（R）・CA15-3」測定試薬の検討．医学と薬学 54（4）：551-554, 2005〔CA15-3〕
・熊田益子，他：全自動免疫測定装置 ARCHITECT（R）i2000 による「アーキテクト（R）・CA125 Ⅱ」測定試薬の検討．医学と薬学 54（4）：547-550, 2005.〔CA125〕
・武田悟，他：化学発光免疫測定法（ARCHITECT システム）による総 PSA, 遊離 PSA 測定の基礎検討および臨床応用〔PSA〕